

(8) 財団法人 鳥取県臓器バンク 経営状況報告書

一 法人の概要

- 1 名 称 財団法人 鳥取県臓器バンク
- 2 目 的 臓器移植の普及を図るため、県内において臓器移植に係る啓発及び助成等を行い、もって県民の健康の増進及び福祉の向上に寄与することを目的とする。
- 3 組織変更認可年月日 平成11年3月25日
(財団法人鳥取県腎バンク設立許可年月日 平成6年3月23日)
- 4 組織変更登記年月日 平成11年4月1日
(財団法人鳥取県腎バンク設立登記年月日 平成6年4月1日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 88,630,579円
鳥取県出えん金 52,640,000円
市町村出えん金 24,000,000円
民間出えん金 11,990,579円
- 6 役 員 理 事 15人 監 事 2人
理 事 長 井 藤 久 雄 (国立大学法人鳥取大学理事・副学長)
副理事長 岡 本 公 男 (社団法人鳥取県医師会会長)
常務理事 林 由紀子 (鳥取県福祉保健部長)
理 事 西 尾 健 治 (鳥取県腎友会会長)
" 石 部 裕 一 (独立行政法人労働者健康福祉機構山陰
労災病院院長)
" 濱 副 隆 一 (独立行政法人国立病院機構米子医療セ
ンター院長)
" 紙 谷 秀 規 (鳥取県立厚生病院副院長)
" 河 上 歌 子 (鳥取県立中央病院副看護局長)
" 露 木 節 子 (社団法人鳥取県看護協会会長)
" 樋 口 壽一郎 (一般社団法人鳥取県歯科医師会会長)
" 小 林 健 治 (社団法人鳥取県薬剤師会会長)
" 長 井 勇喜夫 (鳥取県銀行協会会長)

理事 竹内 功 (鳥取県市長会会長)

〃 吉田 秀光 (鳥取県町村会会長)

〃 戸田 暖久 (ライオンズクラブ 336-B地区7リ
ジョン・リジョンチェアパーソン)

監事 藤本 英興 (鳥取信用金庫理事長)

〃 内田 幸男 (株式会社エミネット代表取締役社長)

7 職員 3人

8 事務所 米子市西町36番地の1

二 平成22年度事業実施状況

臓器移植医療についての理解促進を図るなど、様々な取組を行った。

1 臓器移植の普及啓発、臓器提供意思表示カードの配布

- (1) 街頭キャンペーンや各種団体が開催するイベントへの参加を通じて、臓器提供意思表示カードやグッズを配布することにより、臓器移植医療への理解促進を図った。また、JR米子駅前にて改正法施行日に啓発うちわ、ティッシュ、ミニライブのチラシを配布した。
- (2) 県内の医療系の学生、一般の大学生、高校生、中学生、小学生へ移植医療に係る講義等を行い、教育現場への普及啓発を行った。
- (3) 意思表示カードをイベント、講義等で8,064枚配布し、病院、公共施設等に1,140枚設置した。また、法改正後の新カードをイベント・講義等で2,212枚配布し、病院・公共施設等に4,163枚設置した。
- (4) 第3回グリーンリボン公開講座（市民公開講座）『移植医療を考える講演会とコンサート～つなぐ命の大切さを考える～』を倉吉市で開催した（11月7日）。98名の参加を得た。
- (5) 『移植を受けた子ども達の作品展』を東・中・西部で計38日間開催した。4新聞に掲載、2テレビで放送された。また、作品展開催中に各会場1回（西部は2回）、生体腎移植を受けた方のミニライブを開催した。
- (6) 鳥取県臓器バンクオリジナルポスターを作成し、7月21日～8月1日の12日間、山陰本線、因美線、伯備線、木次線、境線のJR車両内中吊りポスターとして掲載した。
- (7) 移植を受けた子ども達の作品展のDVDを中海テレビで3日間24時間放映した。また、鳥取県西部医師会『健康ぷらざ』に出演し、中海テレビで14日間放映した。
- (8) 臓器移植普及推進月間中に意思表示カードの所持・記入状況について、一般県民800人にアンケート調査を実施し、アンケート結果をホームページにて一般公開した。
- (9) 鳥取県の人工透析患者数を把握するため、人工透析施設の協力を得て、人工透析の現況に関する調査を実施し、調査結果をホームページにて一般公開した。
- (10) 鳥取県臓器バンクのオリジナル『PR用定規、PR用ボールペン』を作成し、透析施設、病院等へ配布した。
- (11) 県内の中心的医療機関に設置された院内移植コーディネーターに対し、院内移植コーディネーター会議を年2回開催した。

2 鳥取県腎友会への助成

人工透析患者とその家族の会『鳥取県腎友会』の学習会に対して助成した。

3 臓器移植コーディネーターの活動

(1) 日常業務

- ① 県内臓器提供施設の医療従事者に対し、臓器提供協力の拡充のために、定期的に巡回し理解と協力を得ることに努めた。
- ② 病院、各種団体等での講演を行うことにより、臓器移植医療への理解、協力を求めた。
- ③ 一般公共施設や団体等に伺い、移植医療の必要性を説明し、意思表示カード設置箱の設置依頼を行った。

(2) 臓器提供発生業務

- ① ドナー情報が1件寄せられたが、医学的理由にて中止となった。
- ② 一般情報が5件寄せられ、内4件が角膜提供に至った。
- ③ 岡山県で心停止下臓器提供1件と脳死下臓器提供1件発生し、応援業務として支援を行った。

4 その他

臓器バンクの活動報告のバンクだよりを決算承認後作成し、賛助会員等に配布した。

財団法人 鳥取県臓器バンク
収 支 計 算 書

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

	科 目	予算額	決算額	差 異	備 考	
収 入		円	円	円		
	I	事業活動収入	13,498,000	13,301,108	196,892	
	1	基本財産運用収入	1,000,000	1,080,041	△ 80,041	
		(1) 基本財産利息収入	1,000,000	1,080,041	△ 80,041	
	2	補助金収入	10,975,000	10,699,232	275,768	
		(1) 県補助金収入	10,722,000	10,446,513	275,487	
		(2) (社)日本臓器移植ネットワーク補助金収入	253,000	252,719	281	
	3	寄附金収入	242,000	241,602	398	
		(1) 寄附金収入	242,000	241,602	398	
	4	会費収入	1,279,000	1,279,000	0	
		(1) 賛助会員会費収入	1,279,000	1,279,000	0	
	5	雑収入	2,000	1,233	767	
	(1) 受取利息収入	2,000	1,233	767		
	当期収入合計(A)	13,498,000	13,301,108	196,892		
	前期繰越収支差額	4,019,000	4,019,445	△ 445		
	収入合計(B)	17,517,000	17,320,553	196,447		

財団法人 鳥取県臓器バンク
貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	4,761,263	5,522,582	△ 761,319
前払金	1,295	0	1,295
流動資産合計	4,762,558	5,522,582	△ 760,024
2 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	8,630,579	8,630,579	0
基本財産投資有価証券	80,326,400	80,367,200	△ 40,800
基本財産合計	88,956,979	88,997,779	△ 40,800
(2) その他固定資産			
退職給与引当預金	649,380	402,420	246,960
その他固定資産合計	649,380	402,420	246,960
固定資産合計	89,606,359	89,400,199	206,160
資産合計	94,368,917	94,922,781	△ 553,864
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	352,995	1,422,732	△ 1,069,737
預り金	144,847	80,405	64,442
流動負債合計	497,842	1,503,137	△ 1,005,295
2 固定負債			
退職給付引当金	649,380	402,420	246,960
固定負債合計	649,380	402,420	246,960
負債合計	1,147,222	1,905,557	△ 758,335
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	76,640,000	76,640,000	0
指定正味財産合計	76,640,000	76,640,000	0
(うち基本財産への充当額)	(76,640,000)	(76,640,000)	(0)
2 一般正味財産	16,581,695	16,377,224	204,471
(うち基本財産への充当額)	(12,316,979)	(12,357,779)	(△ 40,800)
正味財産合計	93,221,695	93,017,224	204,471
負債及び正味財産	94,368,917	94,922,781	△ 553,864

三 平成23年度事業計画

1 臓器移植の普及のための啓発

- (1) 全県下のイベントや講演会、移植推進月間キャンペーン、医療団体、市町村及びライオンズクラブ等が開催するイベント等への参加を通じて、臓器移植の普及啓発を行う。
- (2) 臓器提供意思表示カードや啓発パンフレットを県・市町村などの公共施設、行政機関、医療機関、学校、理事出身母体及び公民館等に配布する。
- (3) テレビ・新聞・県市町村広報・インターネット・ケーブルテレビ・ホームページ等の媒体を活用して、広報を行う。
- (4) 移植コーディネーターが各医療機関で研修会の実施や、定期的な巡回を行うことにより、臓器提供に対する理解及び協力を得る。
- (5) 教育現場への普及啓発活動の協力を得られるよう働きかけ、「臓器移植出前講座」を実施することにより、若年世代又は教職員等の臓器移植に関する正しい理解を深める。
- (6) 県内の中心的医療機関に設置した鳥取県院内移植コーディネーターに対し、院内移植コーディネーター会議を開催する。
- (7) 鳥取県の移植施設・提供施設の連携強化と院内マニュアルの改善・周知徹底を促す。
- (8) 臓器移植についてのグリーンリボン公開講座（市民公開講座）を米子市で実施する。
- (9) 『移植を受けた子ども達の作品展』を東部・中部・西部で実施する。

2 臓器移植に係る助成

- (1) 鳥取県腎友会の学習会経費に対して助成する。
- (2) 臓器提供が行われた時には、臓器提供者の遺族に対し香典を贈る。

3 社団法人日本臓器移植ネットワークが行う臓器提供のあっ旋に対する協力

臓器移植コーディネーターは、社団法人日本臓器移植ネットワーク西日本支部と連携しながら、死体の臓器提供のあっ旋に対して、以下のような活動をする。

- (1) 臓器移植希望者に対し、登録申請のための支援を行う。
- (2) 西日本支部及び主治医と連絡を取りつつ、臓器提供可能者の脳死判定及び臓器提供に関する意思を確認するとともに、その家族に対して臓器提供についての説明を行う。
- (3) 組織適合性検査のため、臓器提供候補者の血液の確保とともにHLA検査センターへの血液搬送又はその手配を行う。また、摘出された臓器の搬送の手配を行う。
- (4) 臓器提供者の遺族訪問を行い、移植患者の事後報告を行う。

財団法人 鳥取県臓器バンク
収 支 予 算 書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 事業活動収入	13,748	13,498	250	
1 基本財産運用収入	1,033	1,000	33	
(1) 基本財産利息収入	1,033	1,000	33	
2 補助金収入	11,293	10,975	318	
(1) 県補助金収入	11,098	10,722	376	
(2) (社)日本臓器移植ネット トワーク補助金収入	195	253	△ 58	
3 寄附金収入	120	242	△ 122	
(1) 募金収入	120	242	△ 122	
4 会費収入	1,300	1,279	21	
(1) 賛助会員会費収入	1,300	1,279	21	
5 雑収入	2	2	0	
(1) 受取利息収入	2	2	0	
入				
当期収入合計(A)	13,748	13,498	250	
前期繰越収支差額	4,264	4,019	245	
収入合計(B)	18,012	17,517	495	

